

令和4年3月10日

伊予市長 武智 邦典 様

伊予市補助金等審議会  
会長 東瀨 則之

補助金等の見直しについて（答申）

令和元年7月5日、当審議会に対し意見を求められた補助金等の見直しについて、3か年にわたる当審議会において慎重に審議した結果、以下のとおり答申します。

この趣旨に基づき、適正な補助金執行に努めるよう、期待します。

記

1. 「適正な補助金等の交付に関する、新たな基準や仕組み」について、これまでの運用基準であった「伊予市補助金等の見直し基準」を改め、「補助金等交付規則」及び「補助金等の取扱いに関するガイドライン」に基づく運用を提案し、市の例規制定に至った。制定済の補助金交付要綱について、経過措置を設けてはいるものの、今後5年以内に例規に基づく要綱に改正の上、適正な運用を望む。
2. 「その他、必要と考えられる事項」について、補助金等支出の説明責任を果たすため、補助金等交付状況を毎年度公開することにより、補助事業について一定の透明性は図られたと判断する。その他の留意点に関しては、これまでの審議会経過と合わせ、別紙のとおり提案を行う。

## 別紙

### (1) 経過

#### 令和元年度

- 令和元年 7月 5日(金) 委嘱状受取、市の諮問、市の財政・補助金の概要説明  
9月24日(火) 平成30年度補助金に関する協議、審議手法の協議  
11月13日(水) 個別補助金の詳細に関する審議  
令和2年 1月17日(金) 見直し基準の検証、新たなガイドラインの提案  
3月11日(水) 補助金等の取扱いに関するガイドラインに関する協議  
中間報告

#### 令和2年度

- 令和2年 8月28日(金) 補助金の運用・経緯の説明、交付規則制定に関する協議  
10月30日(金) 交付規則・要綱(例)に関する協議、支出公表に関する協議  
令和3年 1月22日(金) 交付規則・ガイドライン見直しの協議、補助事例の審議  
2月17日(水) R1 支出状況公表、交付規則・ガイドラインに関する協議  
中間答申

#### 令和3年度

- 令和3年 8月 4日(水) 補助金の運用・経緯の説明、R2 支出状況公表の協議  
10月 6日(水) 補助金支出状況における効果記載欄の協議、  
補助金等交付規則・ガイドライン修正に関する協議  
12月14日(火) 補助金等交付規則・ガイドライン修正の確認、  
成果指標の設定に関する協議、答申に向けた意見  
令和4年 3月10日(木) 補助金等審議会の振り返り、答申内容協議

### (2) 結果

補助金等の交付に関する基準や仕組みを検討する上で、最終的に市民が補助金の内容を理解でき、必要な人が必要な補助を受けられる透明性が最も重要である。補助金等交付規則という法規的な形、ガイドラインの制定により、補助金交付に当たっての統一化や見直すべき基準は打ち出せたと判断する。補助金の交付状況の公表に関しても、毎年の支出状況に加え、短期的な成果、実績が加わることにより、市民にとってより身近なものとなったと感じる。

一方、前例踏襲や現状重視、現状維持といった意味合いが強い補助金が多く残っている印象がある。市の財政が厳しい中、様々な事業を進める中で、民間や市民の力が芽吹いていくような運用とすべきである。補助金支出の必要性を十分考慮した上で、中期的な KPI (重要業績評価指標) をしっかりと定め、補助金を交付する必要性を明確にし、目指すべき施策の目的に向かって毎年近づくようチェックを行うとともに、どの部局でも同じ発想で KPI が設定できるよう、研修を通じた人材育成を求める。審議会として、令和4年度を基準として、5年後にあるべき状態に向けた KPI 設定を行うことを提案する。

審議会で活用した資料は、有益な情報ではあるものの、ホームページの掲載だけでは市民の目に届きにくい。市民参加の場や教育現場などを通じ、市民に見てもらう機会を確保する方策を検討いただきたい。